幕末・開国

名前

問1　1867年、江戸幕府の第15代将軍である徳川慶喜が、倒幕派による武力討伐の口実をなくすために政権を朝廷に返上した出来事を何といいますか。（2022年 熊本県公立入試 類似）

1. 廃藩置県
2. 公武合体
3. 大政奉還
4. 版籍奉還

問2　江戸幕府が1842年に出した、遭難した外国船に対して燃料や食料を与えて帰すように命じた法令の名称と、その法令が出る前の1825年に異国船を厳しく排斥するために出されていた法令の名称の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2018年 埼玉県公立入試 類似）

1. （1842年の法令）薪水給与令 —（1825年の法令）武家諸法度
2. （1842年の法令）日米和親条約 —（1825年の法令）異国船打払令
3. （1842年の法令）薪水給与令 —（1825年の法令）異国船打払令
4. （1842年の法令）異国船打払令 —（1825年の法令）薪水給与令

問3　日米修好通商条約の締結後に本格化した幕末の貿易において、1865年当時の統計では輸出額の約8割をある品目が占めていました。この品目の大量輸出が国内の経済や社会に与えた影響について、最も適切な説明を選びなさい。（2024年 佐賀県公立入試 類似）

1. 武器が大量に輸出されたことで諸藩の軍事力が強化され、国内の治安が一時的に安定した。
2. 茶の輸出が急増したことで農村の現金収入が増え、幕府に対する農民の支持が急速に高まった。
3. 生糸が大量に輸出されたことで国内での供給が不足し、関連する諸商品の価格が急激に上昇する物価騰貴を招いた。
4. 綿織物が大量に輸出されたことで国内の綿産業が急速に発展し、幕府の財政難が解消されるきっかけとなった。

問4　欧米諸国がアジアへの進出を強めていた19世紀半ば、1853年にペリーが日本へ来航しました。この出来事の背景にある世界史的な流れを説明したものとして、最も適切な内容を選びなさい。（2018年 徳島県公立入試 類似）

1. 第一次世界大戦中にロシア革命が起こり、社会主義国家が誕生したことで、アジアにおける冷戦構造が形成され始めた時期である。
2. マゼランの船団が世界一周を達成し、キリスト教の布教を目的としたスペインやポルトガルの勢力が日本に到達し始めた時期である。
3. イギリスで議会政治の基礎となる名誉革命が起こった直後の時期であり、欧米諸国が絶対王政の下で植民地獲得を競っていた。
4. フランス革命によって市民社会の基礎が築かれた後の時期であり、アメリカ国内で奴隷制などを巡り南北戦争が始まる数年前のことである。

問5　1840年に始まったアヘン戦争で、清がイギリスに敗北したという情報を得た江戸幕府は、それまでの対外政策の変更を迫られました。1842年に幕府が新たに出した方針の内容として、最も適切なものはどれですか。（2016年 愛媛県公立入試 類似）

1. 長崎に加えて横浜と函館を即座に開港し、イギリスとの自由な貿易を開始した。
2. 来航した外国船に対し、人道的な見地から燃料や水、食料を与えて退去させることとした。
3. 異国船打払令をさらに強化し、沿岸の砲台を増設して防衛を固めた。
4. キリスト教の布教を正式に認め、欧米の宣教師が国内で活動することを許可した。

問6　江戸幕府の終焉に関する歴史的な記録において、1867年に政権を朝廷に返上することを決断し、江戸幕府を終結させた第15代将軍は誰ですか。（2022年 山形県公立入試 類似）

1. 徳川家慶
2. 徳川家定
3. 徳川慶喜
4. 徳川家茂

問7　幕末の開国にともなう貿易の開始は、当時の日本経済に激変をもたらしました。特に、安価な綿製品の輸入が日本の社会に与えた影響とその背景について、正しい説明はどれですか。（2016年 福岡県公立入試 類似）

1. 海外から安価な綿織物や綿糸が流入したことで、国内の綿花農家や織物業者が苦境に立たされた。
2. 日本産の綿織物が海外で高く評価されたため、輸出が急増して国内の綿製品が不足した。
3. 輸入された綿織物に高い関税をかけることで、国内の伝統的な綿織物産業は手厚く保護された。
4. 幕府が綿織物の輸入を奨励したことで、国内の農家は綿花栽培から生糸の原料となる養蚕へ一斉に転換した。

問8　幕末の動乱期にあたる1867年頃、物価の上昇や政情不安が続く中、近畿地方から東海地方にかけて「空からお札が降ってきた」という噂をきっかけに、民衆が熱狂的に踊り歩いた社会現象を何と呼びますか。（2017年 徳島県公立入試 類似）

1. ええじゃないか
2. 御蔭参り
3. 世直し一揆
4. 打ちこわし

問9　江戸時代末期、薩摩藩と長州藩が軍事同盟を結んで倒幕の動きを強めるなか、15代将軍の徳川慶喜が政権を天皇に返上した出来事を何と呼びますか。（2026年 愛知県公立入試 類似）

1. 王政復古の大号令
2. 大政奉還
3. 版籍奉還
4. 廃藩置県

問10　1860年代、開国直後の日本における対外貿易の状況について述べた文として、正しいものはどれですか。なお、当時の統計においてこの国は輸出額の52.4%を占めていました。（2017年 香川県公立入試 類似）

1. 函館港を最大の拠点とし、ロシアを最大の貿易相手国としていた。
2. 横浜港を最大の拠点とし、イギリスを最大の貿易相手国としていた。
3. 横浜港を最大の拠点とし、アメリカを最大の貿易相手国としていた。
4. 長崎港を最大の拠点とし、オランダを最大の貿易相手国としていた。

問11　大政奉還が行われる前年、それまで対立していた薩摩藩と長州藩が、倒幕に向けて協力するために結んだ同盟の名称と、その仲介役を務めた人物の正しい組み合わせはどれか。（2019年 茨城県公立入試 類似）

1. 薩長同盟 — 岩倉具視
2. 五箇条の御誓文 — 木戸孝允
3. 日英同盟 — 坂本龍馬
4. 薩長同盟 — 坂本龍馬

問12　大老の井伊直弼が「安政の大獄」と呼ばれる大規模な弾圧を強行した歴史的な背景について、最も適切な説明はどれですか。（2018年 大阪府公立入試 類似）

1. オランダ商館長から開国の勧告を受けたことで、速やかに身分制度を廃止し、西洋風の近代国家を樹立しようとしたため。
2. 不平等条約の改正を求める民衆の暴動を鎮圧し、江戸の治安を維持するために厳しい罰則を設ける必要があったため。
3. 天皇の許可を得ないまま独断で条約を結んだことや、将軍の後継者問題をめぐって幕府を批判する反対派を排除するため。
4. 藩籍奉還や廃藩置県に反対し、武力による倒幕を計画していた薩摩藩や長州藩の指導者を一掃するため。

問13　幕末に開港した際、日本と諸外国では金と銀の交換比率が異なっていました。世界的な比率が「金1：銀15」であったのに対し、日本国内の比率が「金1：銀5」であったという状況下で、日本から大量の金が流出した理由を説明したものとして正しいものはどれですか。（2021年 和歌山県公立入試 類似）

1. 金銀交換比率の違いを利用して、日本の商人たちが海外から安い銀を大量に輸入し、国内の金貨をすべて買い占めて隠匿したため。
2. 外国人が海外から銀を持ち込み、日本の銀貨と交換したのち、その銀貨で割安な日本の金貨を手に入れ、再び海外へ持ち出したため。
3. 外国の商人が日本国内で生産された質の高い銀を買い占めるために、自国の金貨を日本の銀貨と交換して国外へ持ち出したため。
4. 日本国内で金貨の価値が急騰したため、幕府が対外支払いの決済手段として、不足していた銀の代わりに金を大量に放出したため。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 大政奉還	徳川慶喜は、薩摩藩や長州藩などの討幕派が武力で幕府を倒そうとする動きを察知し、自ら政権を朝廷に返すことで、徳川家が参加する形での穏やかな新政府の設立を狙いました。この政権返上の手続きを大政奉還と呼びます。
問2	答え 3 （1842年の法令）薪水給与令 ―（1825年の法令）異国船打払令	1825年に出された「異国船打払令」は、日本に接近する外国船を理由を問わず砲撃して追い払うというものでした。その後、清がアヘン戦争で敗北したことを受け、幕府は1842年に「薪水給与令（天保の薪水給与令）」を出し、漂着した船に薪（燃料）や水、食料を提供して穏やかに退去させる方針へと変更しました。ペリーの来航はこの11年後の1853年です。
問3	答え 3 生糸が大量に輸出されたことで国内での供給が不足し、関連する諸商品の価格が急激に上昇する物価騰貴を招いた。	開港後の日本において、生糸は国際的な需要が非常に高く、輸出額の約8割を占める最大の輸出品となりました。しかし、国内の生産体制が整わないまま大量の生糸が海外へ流出したため、国内市場では生糸が極端に不足しました。その結果、生糸を原料とする製品だけでなく、諸商品の価格が連動して急上昇する「物価騰貴」が起こり、人々の生活を圧迫して社会不安を増大させました。
問4	答え 4 フランス革命によって市民社会の基礎が築かれた後の時期であり、アメリカ国内で奴隷制などを巡り南北戦争が始まる数年前のことである。	ペリーが来航した1853年は、1789年のフランス革命から半世紀以上が経過し、欧米で近代国家の形成が進んでいた時期です。また、アメリカ国内では北部の工業勢力と南部の農業勢力の対立が深まっており、1861年から始まる南北戦争の直前にあたります。ペリー来航は、こうした欧米の近代化と海外市場拡大という大きな歴史の流れの中に位置づけられます。他の選択肢は、16世紀（マゼラン）、17世紀（名誉革命）、20世紀（ロシア革命）の出来事であり、1853年の情勢とは一致しません。
問5	答え 2 来航した外国船に対し、人道的な見地から燃料や水、食料を与えて退去させることとした。	アヘン戦争で大国である清がイギリスに大敗した事実は、江戸幕府に強い危機感を与えました。イギリスなどの強大な軍事力を持つ列強との直接的な衝突を避けるため、幕府は1825年から続けていた、近づく外国船を無差別に攻撃する「異国船打払令」を緩和しました。こうして1842年に出されたのが、燃料（薪）や水などを与えて穏やかに帰船を促す「薪水給与令（天保の薪水給与令）」です。
問6	答え 3 徳川慶喜	徳川慶喜は江戸幕府最後の将軍です。薩摩藩や長州藩による武力討幕の動きをかわすため、自ら政権を朝廷に返上する「大政奉還」を行いました。これにより、260年余り続いた江戸幕府は幕を閉じました。
問7	答え 1 海外から安価な綿織物や綿糸が流入したことで、国内の綿花農家や織物業者が苦境に立たされた。	産業革命によって機械で大量生産された安価な綿織物や綿糸が輸入されたことは、日本の伝統的な産業構造を揺るがしました。これにより、それまで自給自足や国内市場向けに生産していた綿花農家や織物業者は、輸入商品との価格競争に勝てず、経済的な打撃を受けました。一方で、輸出の主力となった生糸の生産農家は好景気に沸くなど、産業によって明暗が分かれる結果となりました。
問8	答え 1 ええじゃないか	開国による経済の混乱や倒幕運動の激化など、社会不安が高まっていた1867年、伊勢神宮などのお札が降ってきたことを吉兆として、民衆が「ええじゃないか」と連呼しながら熱狂的に踊り歩く現象が各地で発生しました。これは、当時の既存の秩序が崩壊していく中での民衆の解放感や、現実逃避的な心理が反映されたものと考えられています。
問9	答え 2 大政奉還	倒幕派による武力行使を避けるため、徳川慶喜は自ら政権を朝廷に返上することで幕府を存続させ、新政府内での主導権を維持しようと試みました。これが1867年に行われた大政奉還です。しかし、直後に出された王政復古の大号令によって幕府の廃止が宣言され、明治維新へと進むことになります。
問10	答え 2 横浜港を最大の拠点とし、イギリスを最大の貿易相手国としていた。	開国後の貿易において、神奈川（横浜）は輸出入ともに最大のシェアを占める港となりました。当時の主要な貿易相手国はイギリスであり、アメリカは南北戦争の影響などから日本との貿易における割合はイギリスに次ぐ順位となっていました。地理的な条件や、輸出品である生糸の集散地に近いことから横浜が急速に発展しました。
問11	答え 4 薩長同盟 ― 坂本龍馬	長州藩と薩摩藩は当初激しく対立していましたが、土佐藩出身の坂本龍馬らが仲介に入り、1866年に「薩長同盟」が結ばれました。この強力な軍事同盟の成立が、幕府を政治的に追い詰め、徳川慶喜による大政奉還へとつながる大きな要因となりました。
問12	答え 3 天皇の許可を得ないまま独断で条約を結んだことや、将軍の後継者問題をめぐって幕府を批判する反対派を排除するため。	井伊直弼は、日米修好通商条約を勅許なしに調印したことで、尊王攘夷派から激しい批判を浴びていました。また、13代将軍・徳川家定の次の跡継ぎをめぐる争い（将軍継嗣問題）においても、強引に徳川慶福（のちの家茂）を擁立したため、反対派との対立が深まっていました。これらの批判勢力を一掃し、幕府の権威を立て直すために安政の大獄が引き起こされ、吉田松陰などの志士や公卿、大名が処罰されました。
問13	答え 2 外国人が海外から銀を持ち込み、日本の銀貨と交換したのち、その銀貨で割安な日本の金貨を手に入れ、再び海外へ持ち出したため。	当時の日本は、世界基準に比べて「金の価値が銀に対して非常に安い（銀5枚で金1枚が手に入る）」状態にありました。外国人は、海外で手に入れた銀15枚を日本に持ち込めば、3枚分もの金貨に交換することができました。この金貨を海外に持ち帰って銀に替えれば、元々の3倍にあたる銀45枚が手に入ることになります。この仕組みを利用した取引が横行したため、日本の金は急速に失われることとなりました。